

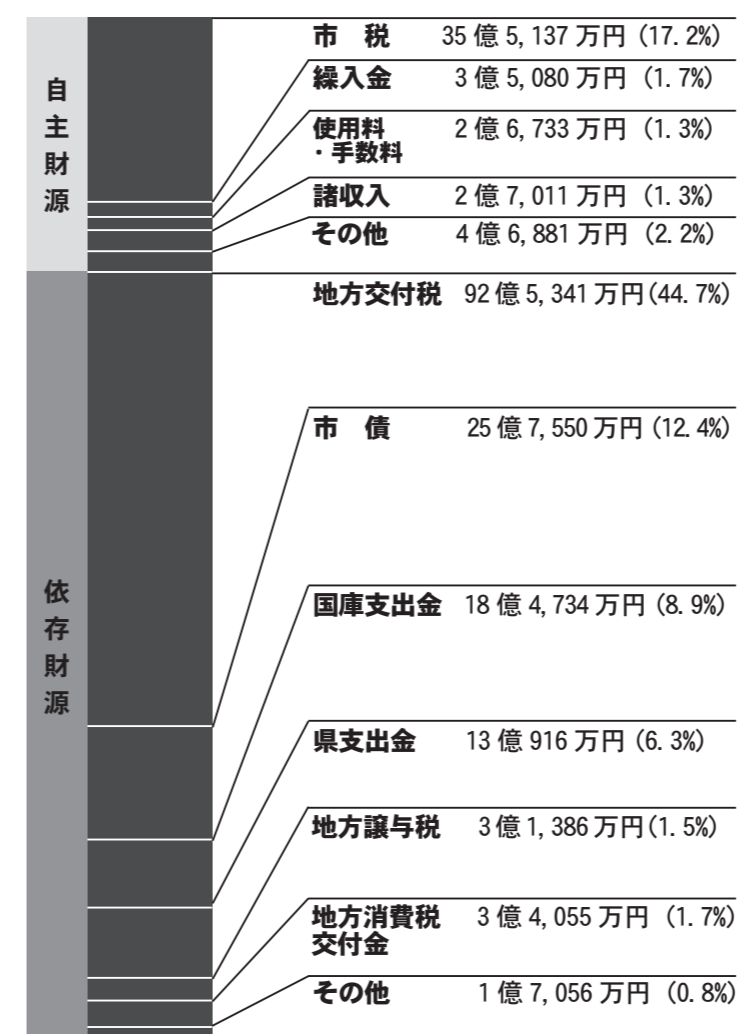
# 平成 20 年度決算

# 財政公表

市のお金の使いみちは？

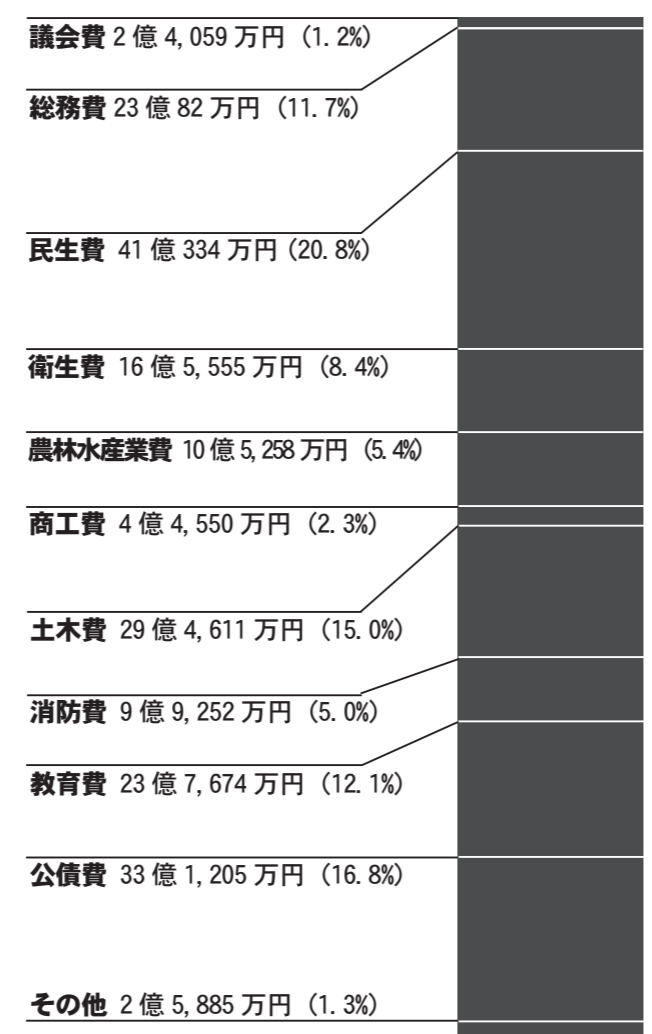
市では、年2回財政状況を市民の皆さんにお知らせしています。今月号では平成20年度各会計決算状況と平成21年度各会計予算の上半期執行状況をお知らせします。(執行状況は10ページに記載)

## 歳入総額 207億1880万円



- 市税 市民の皆さんが納める税金
- 地方譲与税 所得税や自動車重量税などの国税の一部が譲与されるお金
- 地方消費税交付金 地方消費税の一部が交付されるお金
- 地方交付税 市の財政力に応じて国から交付されるお金
- 国庫・県支出金 特定の用途のために国や県から交付されるお金
- 繰入金 一般会計、特別会計、基金(市の預金)等の会計間で移動されるお金
- 諸収入 市の預金の利子や貸付金の元利収入などのお金
- 市債 市の事業や国の施策により発行した借入金

## 歳出総額 196億8,465万円



- 議会費 市議会の運営に使われるお金
- 総務費 庁舎などの維持管理、行政の電子化の推進、市税の課税徴収、選挙、統計など管理事務に使われるお金
- 民生費 高齢者や障がい者、児童のための福祉や保育所の運営、生活保護などのために使われるお金
- 衛生費 各種健診や予防接種、ごみ処理、ごみ減量化の推進などに使われるお金
- 農林水産業費 農林業の振興や農林道の整備、土地改良事業などに使われるお金
- 商工費 商工業の振興や商工業金融対策、企業誘致や観光振興などに使われるお金
- 土木費 道路の整備や維持補修、河川の整備、都市計画、市営住宅管理などに使われるお金
- 消防費 郡山地方広域消防組合負担金や消防団の運営、消防施設の整備、災害対策などに使われるお金
- 教育費 幼稚園、小・中学校などの教育、文化、スポーツの振興などに使われるお金
- 公債費 学校や道路などたくさんの費用がかかるものは借入れをして建設しますが、この借入金(市債)を返済するために使われるお金

区分	歳入	歳出
収益的収支 (税抜き)	358,266	358,622
資本的収支 (税込み)	220,623	369,631

※収益的収支 水道水をつくり、家庭に送り届けるために必要なお金と水道料金などの収入  
 ※資本的収支 水道施設の建設などに必要なお金とその財源  
 ※資本的収支において不足する額は、当年度分消費税・地方消費税資本的収支調整額および過年度分損益勘定留保資金で補てん。

会計名	借入残高
一般会計	24,219,969
簡易水道事業	799,441
滝根町観光事業	99,749
農業集落排水事業	217,749
宅地造成事業	554,501
公共下水道事業	6,675,090
水道事業	2,690,992
合計	35,257,491

区分	歳入	歳出
国民健康保険	5,210,872	4,810,162
老人保健	493,656	493,656
介護保険	3,046,655	2,980,141
後期高齢者医療	294,687	293,142
簡易水道事業	315,994	315,994
滝根町観光事業	777,693	671,714
農業集落排水事業	29,398	29,398
宅地造成事業	172,588	172,588
公共下水道事業	1,176,585	1,176,585
授産場事業	82,936	82,936
診療所事業	302,544	302,544
田村地方介護認定審査会	25,276	25,276

### 市の財政状況分析

一般会計歳入決算額に占める自主財源(市が自主的に)

一般会計の歳入決算額は、207億1879万5千円、歳出決算額は、196億8465万2千円となりました。歳入歳出の差額は、平成21年度に繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質収支額は5億1512万2千円となりました。

### 一般会計の決算

収入できる市税や使用料、手数料などの割合は23.7%と低く、地方交付税などに大きく依存している状況です。また、経常収支比率は90.8%、財政力指数は0.35と依然として財政の硬直化が進んでいます。このような状況を踏まえ、このような状況を踏まえ、なお一層の行財政改革、財源の確保、経費の節減等に努めながら、「あぶくまの人・郷・夢を育むまち」はつらつ高原都市「田村市」の実現に向けた取り組みを進めていきます。